

令和4年度 経済部 施策展開方針 報告書

1. まちづくり政策(経済部関係分)

政策 02	<h3>政策展開の方向性</h3>
産 業	<p>地域における活発な産業活動は、雇用を創出して活気のあるまちをつくります。 北海道最大の都市である札幌市に隣接している立地を活かした都市型農業の推進、地域の特性を活かし、産業間連携や産学官連携等による商工業の振興と新たな地域資源の掘り起しによる観光振興などによって地域経済の活発化を図るとともに、新しい産業振興策の展開に取り組みます。</p>
<h3>令和4年度の取組状況報告</h3>	
<h4>02-01 都市型農業の推進</h4>	
<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な地域農業や生産性・安定性の高い農業経営を実現するため、国や北海道の制度を活用するほか、道央農業振興公社と連携し、農業の担い手の育成・確保や農地の集積を進めてきました。また、令和4年度における「農作物等販売実績」は、前年度と比較し5,300万円の増となりました。 ・市民が誇れるブランド品を維持・拡大し、消費の拡大等を推進するため、黒毛和牛の精液購入費等への補助のほか、江別産小麦製品の維持・拡大に欠かせない小麦品種「きたほなみ」の収量を一定程度確保するための補助を実施しました。また、江別産の農産物加工品をPRするブランド認証では、令和4年度に加工品の販売終了等もあり、更新も含め認定数は8件となりました。このほか、加工新商品開発等の支援補助や「都市と農村の交流センター」（えみくる）内のテストキッチンを活用することで、生産者の6次産業化を支援してきました。 ・農業生産基盤の安定・向上を図るため、国営かんがい排水事業や道営事業により、農業用排水施設を整備したほか、地域からの要望等を踏まえ、計画的に排水路改修を進めました。また、鳥獣による農業被害の軽減のため、江別市鳥獣被害防止計画に基づき、地域保全会や鳥獣被害対策実施隊等により捕獲を行いました。 ・市が支援する『江別市「まち」と「むら」の交流推進協議会』が行う事業などにより、個別計画の進捗状況を示す「グリーンツーリズム関連施設の利用者数」は高い値となり、都市と農村の交流が図られました。また、第3次江別市食育推進計画に基づき、小学生の農業体験学習や小麦追跡学習等を行ったほか、中学生を対象にした「お弁当コンテスト」を4校で実施するなど、ライフステージごとの食育を推進しました。 ・肥料原料及び配合飼料の価格高騰の影響により、営農コストが増大し経営が圧迫されている農業者に対し、購入した肥料及び飼料の量に応じた支援制度を実施し、肥料は249件、配合飼料は41件の農業者より申請があり、肥料6,464千円、配合飼料2,597千円を給付しました。 ・コロナ禍による原油価格・物価高騰により、経費負担が増大している酪農家を応援し、地元産牛乳の消費喚起と子どもたちの栄養補助に寄与することを目的に、地元酪農家が出荷している乳牛メーカーの牛乳を、夏休みで牛乳を飲む機会が減少する子ども等に対し、延べ31,786人へ無料配布する事業を行いました。 ・国のみどりの食糧システム戦略の実現に向け、エネルギーの調達における環境負荷軽減を推進するため、地域のバイオマスを活用したメタン発酵後の副産物であるバイオ液肥等について、散布実証や肥効分析、生産者への普及啓発にかかる費用について、3,001千円を支援しました。 ・コロナ禍やウクライナ情勢の影響による原油価格・物価高騰を踏まえ、施設園芸において価格が大きく変動する灯油への依存度を下げるため、無加温ハウスの整備や省エネ機器・設備等の導入にかかる取組に対し、11,933千円を支援しました。 	
<h4>02-02 商工業の振興</h4>	
<ul style="list-style-type: none"> ・企業誘致の促進と既存企業の事業継続支援による地域経済活性化、雇用の場の創出を図るため、市内外の企業等と新規立地や設備の増設について協議を行いました（170回）。 ・誘致活動において、江別市企業立地等の促進に関する条例に基づく補助制度のPR等を行い、令和4年度は1社の誘致が実現しました。 ・市のホームページ上に企業PRガイドを掲載し、市内に立地する企業の持つ技術や生産設備、製品・サービスなどの情報を市内外に発信しており、令和4年度末現在で47企業のPRガイドを掲載しています。今後、さらに市内企業間の連携や新規ビジネス、市場開拓の促進を図ります。 ・新型コロナウイルス感染症や物価高騰等の影響により、業況が悪化した中小企業の経営の安定性を高め、生産力向上により地域経済の活性化を図ることを目的に、令和4年度は、江別商工会議所や金融機関と連携した各種融資制度を運営するとともに、市内企業・団体による経済活性化のためのイベントの開催、研修・研究活動などを支援しました。 ・高齢化の進展など社会情勢の変化や地域特性を踏まえた個性的で魅力ある商店街づくりを進め、地域住民の利便性の向上や地域社会（コミュニティ）活動の拠点としての機能の向上を図るため、令和4年度は、補助金の活用等に係る周知活動や個別相談のサポートなどを通じ、商店街への多様な主体の参入を促しました。 ・就業機会の確保や職務能力向上に向けた支援を行い、市内企業が必要な人材を確保でき、求職者が希望に沿った就労ができる状態を目指すため、令和4年度は、総合型就労拠点施設「江別まちなか仕事プラザ」を活用し、女性・シルバー世代を中心とする求職者と江別市内企業のマッチングを行いました。また、求職者向けセミナーと合わせて企業の採用担当者向けセミナーを行うことで、求人企業・求職者の両面からの就労支援を行いました。 	

02-03 観光による産業の振興

江別市観光振興計画に基づき、関係機関等と連携し、次の取組を実施しました。

- ・新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、着地型観光を推進し、少人数単位での周遊を促進するため、一般社団法人えべつ観光協会に委託し、レンタサイクル事業、市内周遊イベント「リアル謎解きゲーム」の実施、観光イラストマップの発行に取り組みました。
- ・市民と事業者の観光意識の醸成のため、酪農学園大学堂地学長、(株)北海道日本ハムファイターズ前沢取締役事業統括本部長、石屋製菓石水代表取締役社長等をパネリストに迎え、江別市観光セミナー『えべつ観光セミナー2023 観光新時代へ～地場の魅力を最大限活用するローカルビジネス創造に向けて～』を開催しました。
- ・食や農といった観光資源を活かし、市の魅力・認知度を向上させるため、白い恋人パーク（石屋商事株式会社）において、プロモーションイベントを開催し、江別特産品販売、動画放映、パンフレットの配布、アンケート調査等を実施しました。
- ・えべつ観光協会が、民間の観光推進体制の中心的組織となり得るよう実施した「えペコレバスツアー」、「ブレイクマネージャー養成講座」等の事業について、連携して取り組みました。
- ・えべつ観光協会や地域おこし協力隊との連携によるSNS等を活用したイベントや飲食店等の紹介、江別アンテナショップGET'S及び市民交流施設における観光案内等により、江別市の魅力や観光関連情報を発信しました。
- ・広域観光の推進のため、加盟するさっぽろ連携中枢都市圏観光協議会での台湾市場向け着地型商品造成及びインフルエンサー招請業務等への協力や、近隣市町村で作成する子ども向けスポット紹介冊子（こどもパスポート）の発行等を行いました。
- ・令和3年度まで1名体制であった地域おこし協力隊を2名体制としたほか、地域プロジェクトマネージャーを継続任用し、外部人材を活用した観光振興に取り組みました。

政策の成果指標	単位	(初期値)	R2年度	R3年度	R4年度	目標
農産物等販売実績（JA道央江別市分のみ）	百万円	4,521	5,304	4,923	4,976	↗
製造品出荷額等 [※]	百万円	85,201	96,846	91,305	89,150	↗
観光入込客数	人	768,000	1,361,201	1,216,970	1,584,938	↗
経済部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況						
1経営体あたりの平均経営面積	a	1,409	2,101	2,101	2,101	↗
えべつの農産物加工品認定数	件	0	10	10	8	↗
農村環境の保全に取り組む団体数	件	7	9	9	9	↗
グリーンツーリズム関連施設の利用者数	人	423,000	545,905	615,351	622,025	↗
「企業誘致推進事業」 誘致により立地した企業・事業所数	社	0	2	4	1	↗
「企業立地等補助金」 補助金交付件数(累計)	件	22	35	35	40	↗
「商工業活性化事業」 補助金の活用件数	件	31	5	13	10	↗

※製造品出荷額等…R2年度実績まで「工業統計調査」、R3年度実績は「経済センサス活動調査」、R4年度実績は「経済構造実態調査」により把握している。国の工業統計調査（R2を持って廃止）及び経済センサス活動調査（5年に1度）は全数調査であるが、工業統計調査の後継調査である経済構造実態調査は全数調査ではないため、R3年度以前との単純比較はできない。

政策 04 安全・安心	政策展開の方向性							
	交通安全や防犯活動の推進、生活衛生環境や冬期生活環境の充実などを通じて安全で快適な社会環境を築いていくとともに、地域防災力の向上や消防・救急体制の充実を図ることにより、災害に強く、だれもが末永く安心して暮らせるまちづくりを進めます。							
	令和4年度の取組状況報告							
	04-01 安全な暮らしの確保							
	・消費者被害に遭わず安心して暮らせる社会を目指し、令和4年度は、消費者からの相談に迅速かつ的確に対応したほか、江別市消費者被害防止ネットワークを開催することで関係機関と連携して被害の未然防止のための啓発に努めました。							
	政策の成果指標		単位	(初期値)	R2年度	R3年度	R4年度	目標
	安全で衛生的な生活環境が整っていると思う市民割合		%	78.2	83.3	81.0	83.9	↗
災害対策が充実し安心と思う市民割合		%	52.1	58.9	52.1	51.6	↗	
消防・救急活動に満足している市民割合		%	89.5	93.9	93.0	93.1	↗	
経済部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況								
「消費者保護育成事業」 消費生活相談件数		件	591	721	644	644	↘	

2. えべつ未来戦略(経済部関係分)

戦 略	■戦略プロジェクト 「関連事業」(担当課)
戦略 1 にぎわいと活力を創出するまちづくり	①地域資源の発掘と活用 「観光振興計画推進事業」(観光振興課) 「えべつ観光協会支援事業」(観光振興課) 「江別アンテナショップGET'S管理運営事業」(観光振興課) ②農畜産物の高付加価値化 「都市と農村交流事業」(農業振興課) 「江別産農畜産物ブランディング事業」(農業振興課)
戦略 2 安心して子どもを産み育てることができるまちづくり	
戦略 3 子どもから大人までいきいきと健康に暮らせるまちづくり	

3. 経済部の資源

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
歳出決算額 (千円)	一般会計 (A)	2,012,549	2,040,160	2,546,362	3,921,349	2,615,563
	特別会計 (B)	0	0	0	0	0
	合計 (A+B)	2,012,549	2,040,160	2,546,362	3,921,349	2,615,563
正職員人件費 (千円)	人工 (a)	30.00	32.20	32.00	31.00	29.00
	平均単価 (b)	7,627	7,687	7,629	7,607	7,604
	人件費 (a×b)	228,810	247,521	244,128	235,817	220,516
総 額		2,241,359	2,287,681	2,790,490	4,157,166	2,836,079